

高度医療導入に係る基礎調査 報告書【概要版】

序章 調査の背景及び目的

【背景】

山梨県では高度・専門的な診断、治療を行うための三次医療機能の充実が進められており、県立中央病院や山梨大学医学部附属病院をはじめとする病院において、先進的な医療技術や専門性の高い救急医療等が提供されている。他県では、重粒子線治療など先進医療の導入が進み、地域の状況に応じた高度医療が各地で展開されている。

【目的】

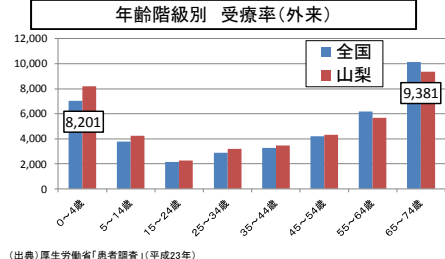
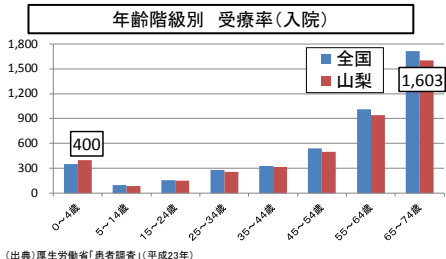
全国的な高度医療の提供状況及び山梨県の医療環境を踏まえ、他県の先進的な高度医療のデータを収集し、分析する中で、山梨県にとってどのような高度医療の導入が適切か、方向性を明らかにする。

第1章 山梨県の医療需要と医療資源

【山梨県の医療需要】

■年齢階級別受療状況：小児医療と高齢者医療の需要大

○年齢階級別受療率は小児が外来で、高齢者が外来・入院とも他年齢に比べ、非常に高い。全国と比べると、入院・外来とも、小児が高く、高齢者は低い。他の年代は総じて入院が低く、外来が高い状況



【生活習慣病の増加に伴う医療需要】

■山梨県における三大死因(がん・脳血管疾患・心疾患):死因の多様化により三大死因の割合は低下

○全死亡に占める三大死因の割合:約62.9%(1983年)→約50.4%(2013年)
 ・脳血管疾患・心疾患による死亡の割合は大きく減少、がんによる死亡の割合は増大。
 ・年齢調整死亡率は三疾病とも低下。高齢化の影響により低下。全国と比べると、がんは下回り、脳血管疾患は平均並み、心疾患はやや上回る状況

■がんの状況:全国比で良好な水準

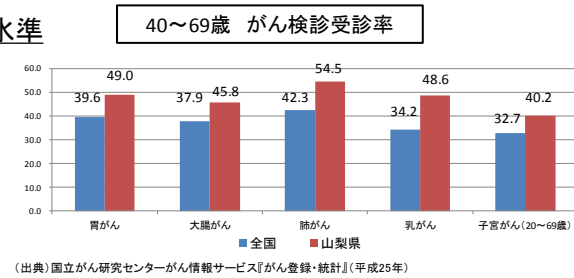
○主要指標
 ・年齢調整罹患率⇒肝がん以外は全国平均より低い
 ・年齢調整死亡率⇒5位と良好、肝がん以外は全国平均より低い
 ・がん検診受診率⇒各部位において、全国平均を8～15%上回る高水準

がん関連指標	胃がん		肝がん		大腸がん		肺がん(※)		子宮がん		全がん	
	山梨	順位	山梨	順位	山梨	順位	山梨	順位	山梨	順位	山梨	順位
年齢調整罹患率(男)	64.4	5位	35.2	36位	65.1	21位	48.3	1位			409.7	9位
年齢調整罹患率(女)	27.8	21位	11.6	36位	36.7	17位	17.9	4位	35.2	19位	288.1	23位
年齢調整死亡率	7.5	3位	7.0	35位	10.1	21位	11.0	2位	3.6	5位	72.3	5位

(出典)年齢調整罹患率:国立がん研究センターがん対策情報センター「全国がん罹患モニタリング集計2011年罹患数・率報告」(平成23年)

年齢調整死亡率:国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(平成25年)

※肺がんの年齢調整死亡率は「気管、気管支及び肺」の値を使用した



(出典)国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」(平成25年)

■脳血管疾患の状況:概ね全国平均並の水準

○総患者数は、脳梗塞、その他脳血管疾患とも概ね全国平均並み
 ○年齢調整死亡率は女性のくも膜下出血で全国平均を下回る

脳血管疾患関連指標 都道府県別順位

	脳血管疾患合計			脳梗塞			その他脳血管疾患			うちくも膜下出血	うち脳内出血
	山梨	全国	順位	山梨	全国	順位	山梨	全国	順位		
総患者数(人口10万対)	933	966	28位	700	723	20位	233	243	30位		
年齢調整死亡率(男)	50.0	49.5	28位	27.2	25.4	31位				5.6	5.7
年齢調整死亡率(女)	25.7	26.9	22位	12.3	12.8	22位				6.3	5.7

(出典)総患者数:厚生労働省「患者調査」(平成23年) 年齢調整死亡率:厚生労働省「人口動態統計特殊報告」(平成22年)

■心疾患の状況:年齢調整死亡率は概ね全国平均並み～やや高い程度。総患者数は全国より多い

○総患者数は全国平均より多い
 ○年齢調整死亡率は、男性は心不全以外は全国平均並みかそれ以下。女性は虚血性心疾患以外は全国平均よりやや高い。

心疾患関連指標 都道府県別順位

	心疾患			虚血性心疾患			その他心疾患			急性心筋梗塞			不整脈及び伝導障害			心不全		
	山梨	全国	順位	山梨	全国	順位	山梨	全国	順位	山梨	全国	順位	山梨	全国	順位	山梨	全国	順位
総患者数(人口10万対)	1750	1261	41位	817	592	37位	933	670	41位									
年齢調整死亡率(男)	70.4	74.2	16位	30.7	36.7	20位				22.6	22.4	29位	11.7	10.5	29位	20.4	19.5	32位
年齢調整死亡率(女)	42.6	39.7	37位	13.8	15.3	23位				10.2	8.4	34位	7.1	5.3	34位	15.6	14.2	35位

(出典)総患者数:厚生労働省「患者調査」(平成23年)、年齢調整死亡率:厚生労働省「人口動態統計特殊報告」(平成22年)

■その他の疾患の状況(年齢調整死亡率):全国比で深刻な状況にある疾患は少ない

○多くの疾患で数値は全国並か、やや良い～やや悪い程度
 ・結核(女性)、糖尿病(男性)、肝疾患(女性)、老衰(女性)の4項目が全国を大きく(40位以下)下回る

年齢調整死亡率 都道府県別順位

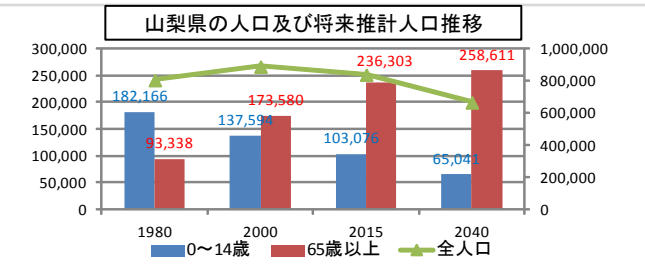
	結核	白血病	糖尿病	高血圧性疾患	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰
男性	26位	9位	45位	13位	6位	34位	27位	39位
女性	43位	24位	27位	38位	10位	45位	36位	42位

(出典)厚生労働省「人口動態統計特殊報告」(平成22年)

【少子高齢化の進行に伴う医療需要】

■人口構造の転換:人口の減少と深刻な少子高齢化

県内人口 :約88.8万人(2000年)⇒約66.6万人(2040年)
 年少(0～14歳)人口 :約18.2万人(1980年)⇒約6.5万人(2040年)
 高齢者(65歳～)人口:約9.3万人(1980年)⇒約25.9万人(2040年)



(出典)総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

1980年には年少人口は高齢者人口の約2倍程度だったが、2040年予測では年少人口は高齢者人口の約4分の1になるとされる

■小児医療:児童精神医療の需要が大きい

○周産期医療:全国平均より低い
 ○小児救急医療:全国平均並
 ○難病医療:全国平均並
 ○児童精神医療:対象者数の著しい増加

周産期医療 指標		小児救急医療 指標	
新生児死亡率	0.5	0.9	
乳児死亡率	1.8	2.1	
幼児死亡率	0.5	0.6	
小児死亡率	0.08	0.08	

(出典)厚生労働省「人口動態統計」(平成26年)

(出典)厚生労働省「人口動態統計」(平成25年)

難病医療 指標		山梨	全国
人口比小児慢性特定疾患登録率(人口10万対)		443	402

(出典)厚生労働省「人口動態統計」(平成25年)

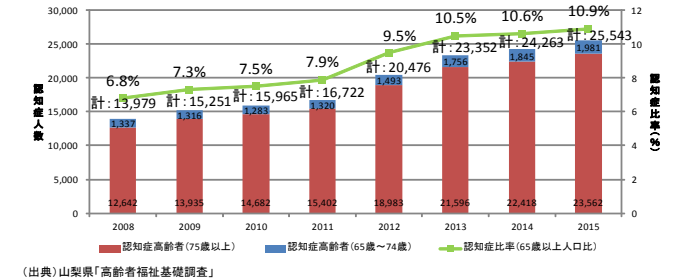
(出典)山梨県福祉保健部「小児慢性特定疾患治療研究事業システムに関する研究」(平成22年データ)、総務省統計局「国勢調査」(平成22年)

■高齢者医療:高齢化に伴い認知症高齢者増大。受診状況は低い

○認知症高齢者:13,979人(2008年)⇒25,543人(2015年)
 ○受診率:100人当たり1716.4(全国第7位の低水準)

	入院	入院外	歯科	計	順位
全国	83.6	1,598.3	206.0	1,887.9	
山梨県	75.4	1,479.7	161.2	1,716.4	7位

(出典)厚生労働省「後期高齢者医療事業状況報告」(平成25年)



(出典)山梨県「高齢者福祉基礎調査」

■山梨県における医療資源提供状況:施設はほぼ全国並み以上。従事者は全国比で概ねやや良い～やや悪い程度

○施設数は、全国水準並み～全国比やや良い水準
 ○従事者数は、全国比やや良い～やや悪い程度の水準

人口10万対医療施設数 都道府県別順位

病院	一般診療所	歯科診療所	薬局	全病床
23位	23位	12位	10位	29位

(出典)医療施設調査・病院報告(平成26年)